

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		ブックスタート事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020201000618	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090601	
政策体系	総合計画の施策名	0202	生涯学習・芸術文化活動の推進			主要事業		グループ	生涯学習課	
	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり			市長マニフェスト				
	施策名	02	生涯学習・芸術文化活動の推進			未来PJ事業		生涯学習G		
	手段名	01	①自主的な活動の支援と学習機会の提供			合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け					事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	05	02	05	00	真壁伝承館管理事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成18年度~)			
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>【事務事業の内容】4~7カ月児の育児相談時に絵本への親しみをもつきっかけになるようボランティアの協力により1組づつの親子に対し、メッセージを伝え、絵本の読み聞かせをし、ブックスタートパックを配布する事業を年10回実施している。</p> <p>会場：岩瀬福祉センター (6回)・真壁保健センター (4回)</p> <p>ブックスタートパックの内容：絵本1冊、アドバイス集、おすすめ図書案内、子育て支援センターパンフレット等</p>		<ul style="list-style-type: none"> 健康推進課との打ち合わせ 絵本の選本 ブックスタート絵本等の仮注文・本注文 契約事務 ボランティア分担表の作成、協力依頼 ブックスタートパックの作成 ブックスタート実施 集計事務 (欠席者への連絡等) ブックスタートアンケート調査集計 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
4~7カ月児の育児相談時に絵本への親しみをもつきっかけになるようボランティアの協力により1組づつの親子に対し、絵本の読み聞かせをし、ブックスタートパックを配布する事業を年10回実施している。	実施回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
乳幼児 (4~7カ月児)・保護者	4~7ヶ月児	人	258.00	196.00	260.00	250.00	250.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
ブックスタートパック (絵本等) を配布し、本に親しみ、健やかな心を育むことができ、地域との交流も図ることができる	ブックスタートパックを配布した人数	人	225.00	196.00	260.00	250.00	250.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単 位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	期間限定 総投入量
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			0
	県支出金	千円	0	0	0			0
	地方債	千円	0	0	0			0
	使用料・手数料	千円	0	0	0			0
	その他	千円	0	0	0			0
	一般財源	千円	220	169	207			0
事業費計 (A)		千円	220	169	207			0
人件費	正規職員従事人数	人	4.00人	3.00人	2.00人			
	述べ業務時間	時間	137.45	137.00	137.00			
	人件費計 (B)	千円	402	401	401			
トータルコスト (A)+(B)		千円	622	570	608			

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	08 報償費	159		08 報償費	197	
	11 需用費	10		11 需用費	10	
合計			169	合計		207

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	ブックスタート事業	事務事業No.	20201000618	所属課	生涯学習課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成18年度より絵本の読み聞かせを通して、家族とのふれあい、本への親しみ、地域との交流を図るため実施している。当初は、BCG接種の際2会場年12回実施していた。現在は、4~7カ月児育児相談時の実施になり、実施回数が2会場で10回(真壁4・岩瀬6)となり、幾分出席率が低下している。平成26年度から1歳児健診日にアンケートを実施。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

4~7カ月児の乳幼児を対象に絵本の読み聞かせをし、ブックスタートパックを配布している。乳幼児へ配布しているため、本への親しみが早い時期におこり、図書館利用者が増加している。絵本への興味を示すようになった。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

人的な配置、新たな資料の購入が必要となる。大和・岩瀬中央公民館の図書室は狭く、読み聞かせのスペースや、ベビーカー等を置く場所もないため環境づくりを考えなければならない。ブックスタートパック(配布一式)の中に図書使用カード申請書も同封し、図書室の利用促進につなげたい。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	政策体系の豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくりに結びついている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	本とふれあう機会づくりとしての事業費は妥当である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	真壁図書館は、親子で読み聞かせができるスペースがあるが、大和・岩瀬中央公民館図書室では、スペースの確保が困難である
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	赤ちゃんに対しての事業であるため、本とのふれあいの時期を逃してしまう
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	健康推進課との連携により、4~7か月児の育児相談の際に実施している
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	ブックスタートパックの内容は、最低限のものだけを購入しているため削減できない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	育児相談に欠席された対象者にも連絡配布している

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	保護者と赤ちゃんは、ボランティアの方から絵本の読み聞かせをしてもらうことにより、赤ちゃんの反応を見ることができ、親子で触れ合うきっかけにもなる。また、ボランティアの方との交流ができ、会話が弾んだりする光景があった。時間帯により、眠くなってしまったり、おなかがすいたり泣き出してしまったりもいる。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○		低下		
コスト																				
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○																		
	低下																			
今まで2カ所で行っていたブックスタート事業を、少子化も考慮し、真壁保健センター1カ所で行うこととした。		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>